平成26年度　上期経営情報
ミニディスクロージャー誌

～次代へつなぐ豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2014－上期－

JA佐渡の経営内容

めざせ！！一等米比率９０％「佐渡米未来プロジェクト品質向上９０」

プロフィール

設立	平成５年８月１日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出資金	２６億円
総資産	１，２１８億円
組合員数	１５，６２９人 （正組合員 8,894 人・准組合員 6,735 人）
職員数	４７０人
店舗数	本店、支店　９店、出張所　３店

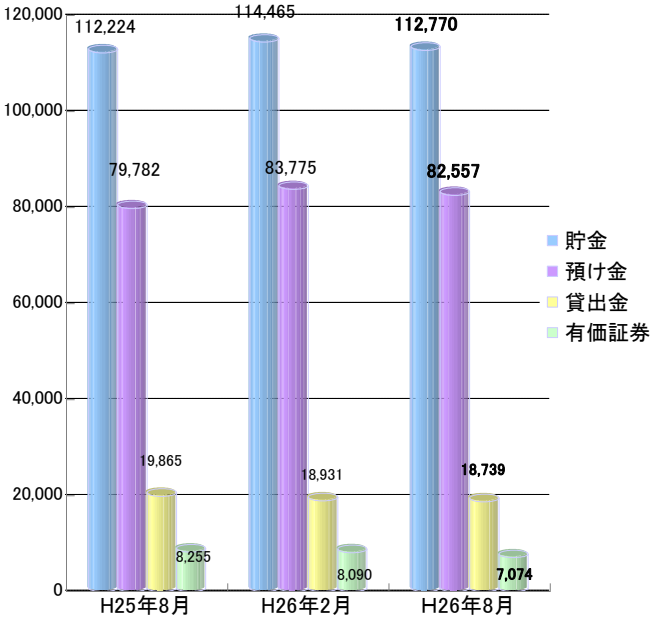
佐渡農業協同組合

平成２６年８月末　ＪＡ佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の状況

（単位：百万円）

	H25 年 8 月	H26 年 2 月	H26 年 8 月
貯　　金	112,224	114,465	112,770
預　け　金	79,782	83,775	82,557
貸　出　金	19,865	18,931	18,739
有 価 証 券	8,255	8,090	7,074



○貯金残高は計画比 99.5%と下回っており、大きな要素として個人貯金が前年に対し 16 億円減少しております。キャンペーン定期貯金の一斉満期の中で消費増税、相続等による貯金流出に歯止めがかからないことが大きな要因です。

○預金残高は計画比 100.7%と上回りましたが、低金利による有価証券の新規購入の見送り及び保有有価証券の大量償還に伴う資金シフトが大きな要因となっています。

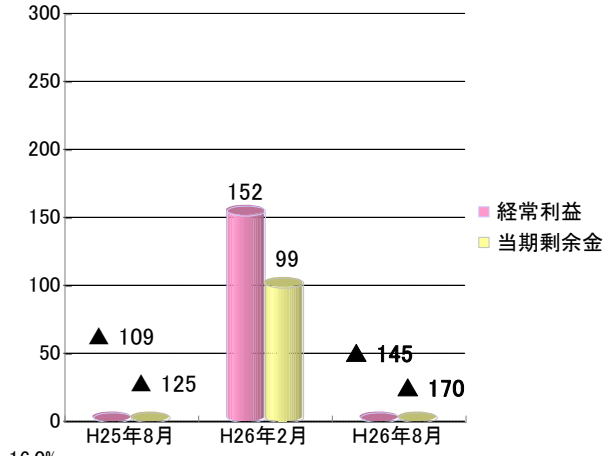
○貸出金は計画比 96.7%であったものの、前年比 106.3%と伸長しております。特に農業関連資金の「アグリ 1」等への早期取組みと、担い手への定期訪問、教育ローンの訪問推進が実績に貢献しております。一方、生活関連資金では住宅ローンの他行借換えによる残高減少が大きな課題となっています。

○有価証券は 15 億円の償還に対し、金利低下による債券購入見送りのため残高が減少しております。

収支の状況

（単位：百万円）

	H25 年 8 月	H26 年 2 月	H26 年 8 月
経　常　収　益	4,287	9,516	4,196
経　常　費　用	4,396	9,363	4,341
経　常　利　益	▲109	152	▲145
当 期 剰 余 金	▲125	99	▲170
未 処 分 剰 余 金	―	181	―

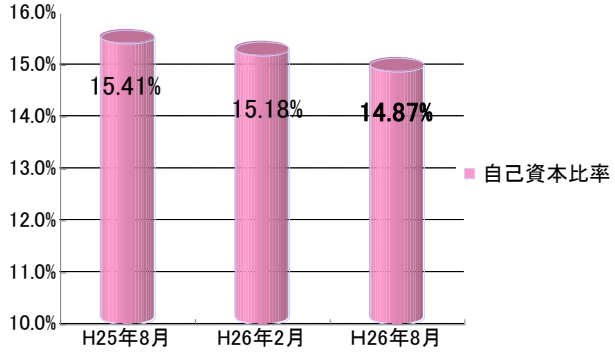


○低金利等の影響の中で増収が難しい中、信用事業をはじめ各事業とも着実な実績の積み上げと管理費圧縮などの総合的な経営に努めましたが、利益は上半期は計画比、前年比ともに下回っております。

単体自己資本比率（推計値）

（単位：百万円、%）

	H25 年 8 月（推計値）	H26 年 2 月	H26 年 8 月（推計値）
自己資本額（A）	5,937	5,956	5,620
リスクアセット（B）	38,527	39,221	37,787
自己資本比率（A）÷（B）×100	15.41%	15.18%	14.87%



8 月末の単体自己資本比率（推計値）は平成 26 年 2 月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、8 月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額により算出しています。（平成 26 年 8 月期は、平成 26 年 3 月金融庁・農林水産省告示の内容により自己資本比率を計算しています。）

自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウエイトづけをした総資産等（リスク・アセット）を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目（リスクウェイト）を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

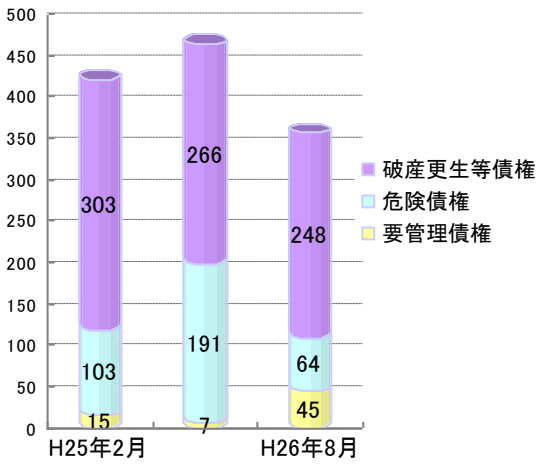
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

不良債権の状況

金融再生法開示債権（法施工規則第４条の規定によるもの）

（単位：百万円）

	H25 年 8 月	H26 年 2 月	H26 年 8 月
破産更生等債権①	303	266	**248**
危険債権②	103	191	**64**
要管理債権③	15	7	**45**
小計（①＋②＋③＝A）	423	464	**358**
正常債権④	19,726	18,638	**18,596**
債権額合計（A＋④＝B）	20,149	19,102	**18,955**
債権額に占める開示債権の割合（A÷B×100）	2.09%	2.43%	**1.88%**



開示債権と保全の状況（平成 26 年 8 月）

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

（単位：百万円）

自己査定と保全の状況						金融再生法開示債権（経済債権を含む）		リスク管理債権	
債務者区分		残高 A	担保等保全額 B	貸倒引当金 C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先		42	124	180	100.0%	破産更生等債権	248	破綻先債権	30
実質破綻先		262						延滞債権	281
破綻懸念先		106	85	3	83.2%	危険債権	64		
要注意先	要管理先	64	54	0	85.6%	要管理債権	45	3カ月以上延滞債権	－
	その他要注意先	1,302						貸出条件緩和債権	45
正常先		20,185				正常債権	18,596	合計	357
合計		21,963				合計	18,955		

リスク管理債権について

1．「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。）のうち、法人税法施行令第９６条第１項第３号イからホまでに掲げる事由または同項第４号に規定する事由が生じている貸出金です。

2．「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金です。

3．「３カ月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを３カ月以上延滞している貸出金です。

4．「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、債権の一部放棄等を行っている貸出金です。

金融再生法開示債権について

1．「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。

2．「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3．「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く３カ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。

4．「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

有価証券等時価情報

（単位：百万円）

保有区分	平成25年8月			平成26年8月		
	取得価格	時　価	評価損益	取得価格	時　価	評価損益
売買目的	－	－	－	－	－	－
満期保有目的	1,698	1,725	27	1,099	1,106	7
その他	6,556	6,760	204	5,714	5,974	259
合　計	8,255	8,486	231	6,814	7,081	267

（注）1．有価証券の時価は期末時（2月末）における市場価格等によっております。

地域経済・くらしへの貢献

当ＪＡの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。また、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという**「農業メインバンク」**としての社会的責任を担っております。

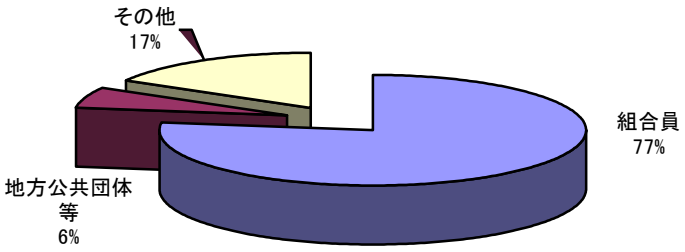
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における**「生活メインバンク」**として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産（貯金）をお預かりしております。

（　単位：百万円）

種　類	残　高
組　合　員	87,055
地方公共団体	6,928
その他	18,786
合　計	112,770

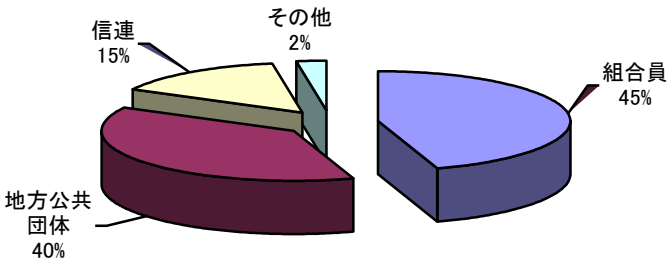


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

（単位：百万円）

種　類	残　高
組　合　員	8,430
地方公共団体	7,060
信　連	2,800
その他	449
合　計	18,739



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

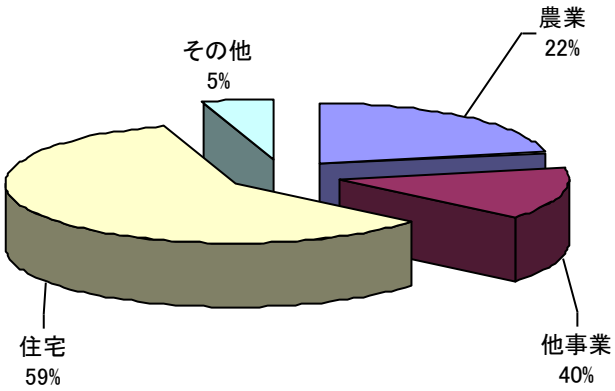
農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてＴＡＣ（営農経済渉外活動）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。こうした活動を円滑に実施するため「ＪＡバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、ＪＡグループ新潟およびＪＡ佐渡独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

貸出金の資金使途別等の残高

〔貸出金〕　（単位：百万円）

種　　類	H25 年 8 月	H26 年 8 月
農業資金	1,760	1,700
その他事業資金	1,169	1,088
住宅関連資金	4,582	4,555
生活関連資金	1,127	1,147
その他	425	389
合　計	9,063	8,879



地方公共団体、信連貸付の残高を除いています。

社会的貢献活動への取り組み

当ＪＡは、地域金融機関としてどなたからも身近で、親しまれ、選ばれる金融機関であるために経営ビジョンである「地域の未来を育むＪＡ」をめざして、広く地域社会に貢献すべく、次のような活動を取り組んでいます。

◆毎年3月と8月には「環境美化ボランティア」を実施し、組合員・役職員参加による全島的な美化活動に取り組んでいます。また、助け合い組織「ほほえみ会」の活動を中心に、青年部や女性部組織による福祉施設等でのボランティア活動を毎年実施しています。

◆青果市場などと毎年 11 月 3 日に共同開催している「ふれあいアッセまつり」や、各支店を中心に実施する夏祭り・収穫祭など地域住民とのふれあいを大切にしています。

◆佐渡市認証米制度を通じた消費者との交流や朱鷺環境整備募金の取り組み等行政と一体となり地域の PR 活動にも取り組んでいます。

写真：「ふれあいアッセまつり」での募金活動

写真：助け合い組織「ほほえみ会」による福祉施設での花植え

写真：組合員・役職員合同での
環境美化ボランティア（3 月、8 月）

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

◆JA関連施設での太陽光発電設備の導入など二酸化炭素削減、電力コスト削減をはかるとともに、夏場の省電力PRのための各施設での緑のカーテンの設置などに取り組んでいます。

◆電気自動車の普及推進を図るため金井・両津地区の「セルフ給油所」に電気自動車の急速充電器を設置し、環境PRを行っています。

写真：電気自動車用急速充電器

写真：畑野倉庫の太陽光パネル

これからも地域と共にあるＪＡを目指して

当ＪＡでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

◇Ａコープ店　：　食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に７店舗、佐渡総合病院、真野みずほ病院内にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所　：　今年８月にオープンしたＪＡ直営直売所「新鮮空間　よらんか舎」と「菜菜きて屋まの」、各Ａコープ店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。

◇セレモニーホール：　増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内２か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド　：　本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内３か所に設けております。

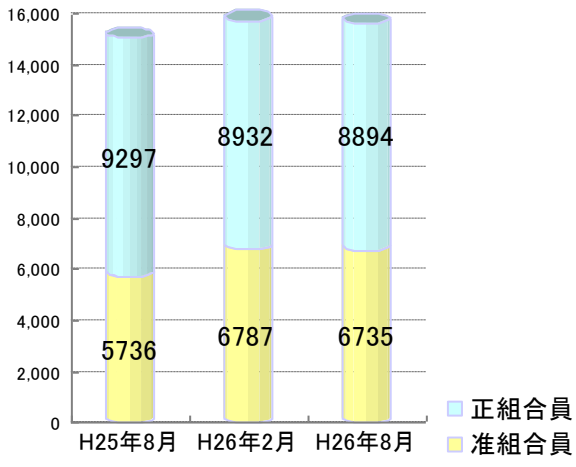
◇総合ポイント制度：　各種事業のご利用に応じて会員の皆様へのポイントによる還元サービスを行っております。現在会員数は約 26,000 名のご加入をいただいております。

★このようにＪＡ佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでおります。

組合員数の推移

（単位：人）

	H25 年 8 月	H26 年 2 月	**H26 年 8 月**
正　組　合　員	9,297	8,932	**8,894**
准　組　合　員	5,736	6,787	**6,735**
組　合　員　計	15,033	15,719	**15,629**

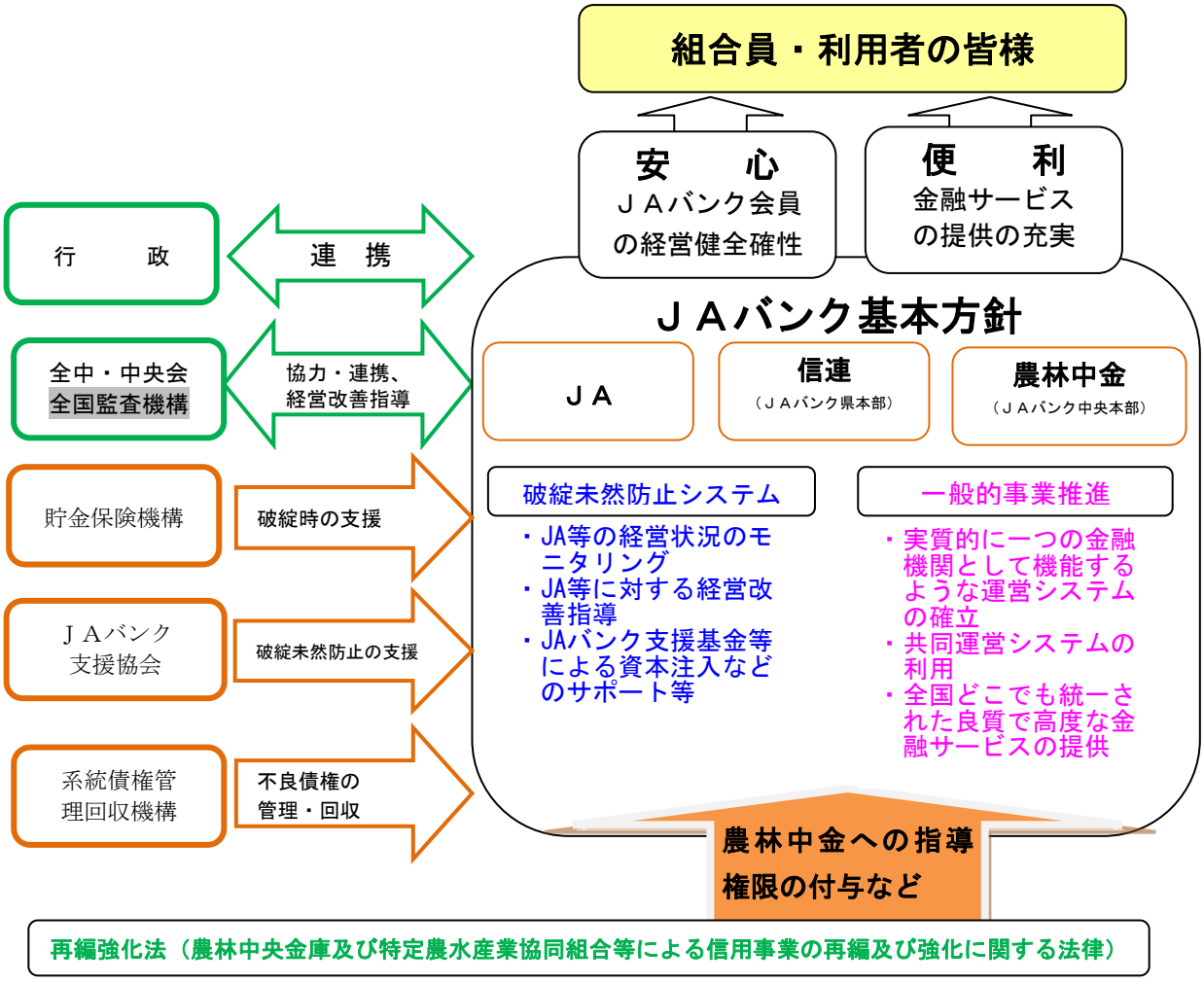


※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、ＪＡバンクが守っています。

ＪＡバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。
「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



ＪＡバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

●貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
●貯金業務を取り扱う全てのＪＡ・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

＋

破綻未然防止システム

●全国のＪＡバンクが協力して個々のＪＡを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
●「破綻未然防止システム」とは、ＪＡの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「ＪＡバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

佐渡農業協同組合

編集　佐渡農業協同組合　総務部
〒952-8502
新潟県佐渡市原黒300番地1
TEL　0259-27-6161
FAX　0259-27-6170
E-ﾒｰﾙ　kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.ja-sado-niigata.or.jp/

JA佐渡　検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。